

広島労働局長による「建設現場安全パトロール」を実施しました

令和8年7月3日（金）

建設現場における労働災害防止活動の推進を図るための建設現場の安全パトロール

広島労働局（局長 宮原真太郎）は、令和8年7月3日、広島労働局長による「建設現場安全パトロール」を実施しました。

今回、パトロールを実施した「放射線影響研究所・広島大学合築建物新営工事」（以下、「現場」という。）は、株式会社浅沼組広島支店が施工するものです。

「建設現場安全パトロール」は、安全週間期間中（毎年7月1日から同月7日まで）及び労働災害が発生しやすい12月に、建設現場における労働災害防止活動の推進を図り、死亡災害の撲滅を目的に行っています。

また、建設業労働災害防止協会広島県支部と連携して現場の安全管理や熱中症対策等の状況を確認しました。



写真中央 広島労働局長 宮原真太郎



熱中症対策について確認を行う様子
宮原局長(左)



現場の安全衛生対策を確認する様子
宮原局長(左から2人目)

広島労働局長による呼びかけ

パトロール実施後、宮原局長は、現場の労働者に、改めて、労働災害の防止や熱中症対策に関して、引き続き徹底するよう呼び掛けました。



安全パトロール及び熱中症対策等に関する取材をしていただきました

安全パトロール実施後、宮原局長が報道機関からの取材に対応しました。

記者の皆様からは、熱中症による労働災害の推移や熱中症対策に係る広島労働局の取組など多くの質問が寄せられました。

また、本件パトロールや取材の内容については、テレビやインターネットニュースで報道されました。



囲み取材の様子

終わりに

広島労働局では、近年増加傾向にある熱中症による労働災害の防止に向け、様々な取組を行っています。広島労働局ホームページでは、職場における具体的な熱中症対策やパンフレット等を掲載していますので、ぜひご活用ください。[（職場における熱中症対策について | 広島労働局）](#)

また、建設業のみならず、転落・墜落事故は、依然として、休業4日以上の災害において、高い割合を占めています。墜落制止用器具の确实且つ適切な使用をお願いします。